

「熊本の学び」プロジェクト校公開授業

授業研究会の様子をアップしました

道徳部会

(1) 授業で子供の姿や授業者の姿、全体をとおして「いいな!」と思ったこと

- ・子供たちの学習の雰囲気の良いの要因は、周りの生徒と様々な形で対話をするを仕組まれていた。
- ・教師が、発表された意見に対する返しが良かった。
- ・心情曲線で視覚的に捉えさせるのは良かった。学びやすかった。
- ・事前にゲストティーチャー等からの学習があっいて、人物についての理解ができていたため、学習がスムーズだった。

(2) 本校の取組である「心理的安全性を見出すための工夫」に対する意見

- ・ワークシートの補足説明がスライドで表示してあったことで、聞き漏らした生徒には安心感になったように思う。ICT活用の工夫を感じた。
- ・自分が言うこと、することを認めてもらえるという雰囲気がある。日頃の取組のおかげ。
- ・ネームプレート等、考えをみとられることで自己肯定感や自己有用感を高めることができていた。
- ・先生自身の中学生時代の失敗談や経験談がもっと食いつきがあったかも。

(3) 質問に対する回答もアップしました

Q 竜北中は心理的安全性をどう捉えているか。なぜ、これを設定したのか。

A 心理的安全性について、本校では、授業を支える土台として、

- ①相手意識を持った発言 ②共感的な聴き方 ③間違いを恐れず発言できること ④お互いの意見を尊重し合う風土 と捉えている。

生徒の実態から主体性を伸ばすことが課題であった。生徒同士の信頼関係が築かれ、心理的安全性が確保された教室であれば、生徒が自由に意見を交流し、主体的に学びに取り組むだろうと考え研究テーマを設定した。

Q 構想案の指導に当たっての留意点について、今後さらにどのように発展させて(深めて)いきたいか。

A 様々な意見を受け入れる受容的な雰囲気はできつつあるので、より多くの生徒が異なる意見・考えについても発表し、それについて議論し、深める授業を目指していきたい。

Q 班づくりについて知りたい。

A 生徒が信頼できる班長を選出し、「学習に集中できる班」を目指して、教師を交えた班長会議で班決めを行っている。